

廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタの一時的な欠測について

平成 17 年 3 月 18 日午前 2 時 9 分、当所廃棄物集中処理建屋中央操作室にて、廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタに関する警報^{* 1}が発生いたしました。ただちに運転員が現場を確認したところ、午前 2 時 12 分頃に当該モニタのサンプリングポンプ^{* 2}(A)が停止していることを確認しました。

当該ポンプが再起動できないことから、午前 2 時 55 分頃に予備機のサンプリングポンプ(B)を起動し、サンプリングを再開しました。

なお、当該ポンプが停止していた間、廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタの指示値が欠測しましたが、他の放射線モニタ等の指示値に異常がないことから、放射性物質の放出はなかったものと評価しております。

また、当該ポンプが停止した原因は、ポンプの吸い込み圧力が高いためであることを確認しておりますが、今後、点検・調査を行います。

以 上

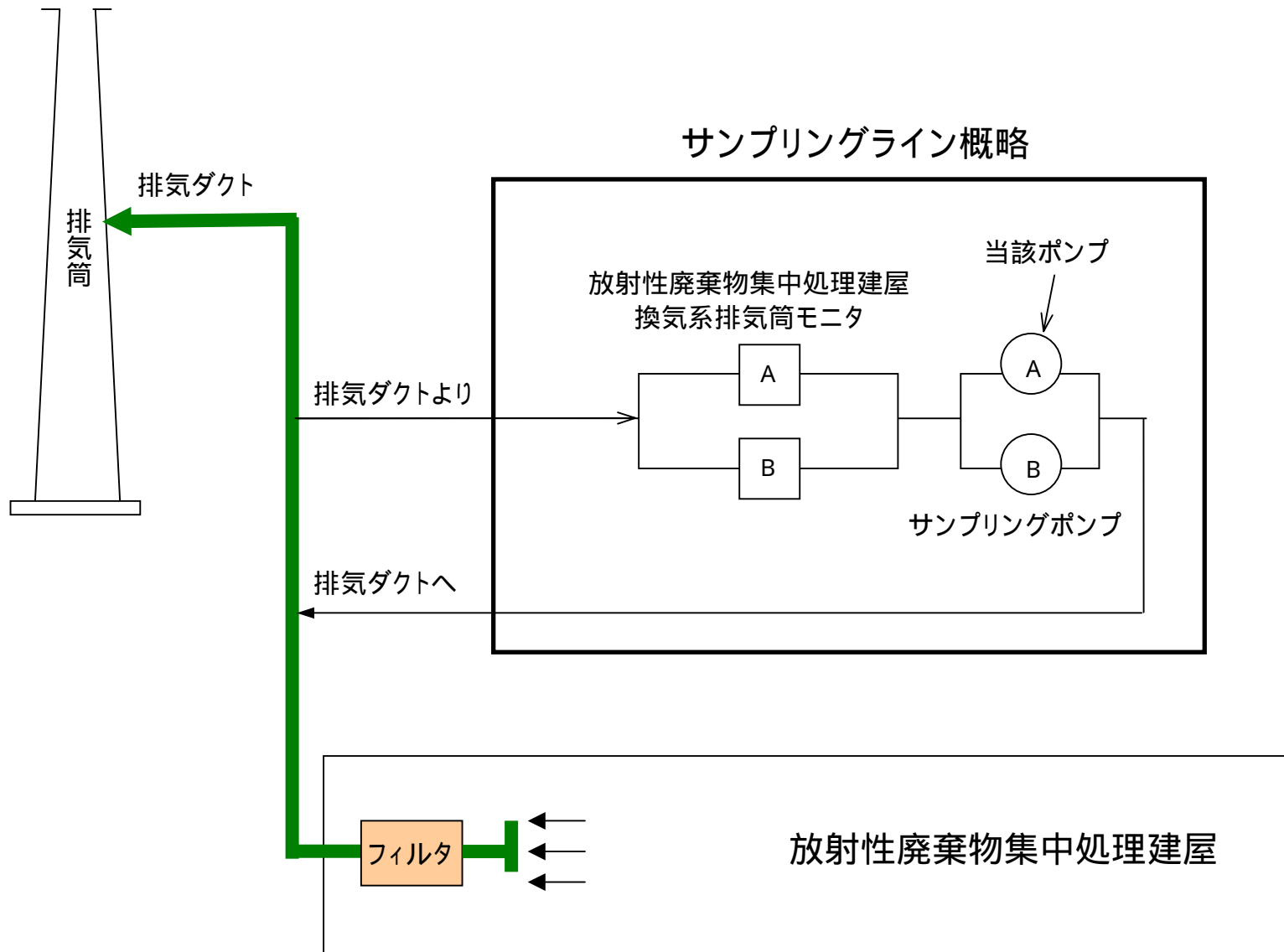
* 1 廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタに関する警報

廃棄物集中処理建屋内の空気を環境へ放出する際、排気中の放射線を測定する装置に異常が生じた場合に発生する警報。

* 2 サンプリングポンプ

廃棄物集中処理建屋換気系排気筒から放出される排気をサンプリングするポンプ。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」(平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み)における区分 の事象として、休前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



放射性廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタの概要